

## 【事例 H26-03-07】 島根県雲南市

### ゲートキーパー養成研修

＝実践度調査から考える地域ぐるみの自死防止対策＝

市職員、民生児童委員、雲南市立病院職員、介護保険関係者（介護支援専門員、介護保険事業所職員）を対象に、①安心して暮らせるまちづくり、②窓口対応と専門機関へのつながり、③職場・同僚への実践の3点について理解し実践できることをねらいとしたゲートキーパー養成講座を開催した。また、ゲートキーパー養成講座受講者を対象としたの、職場や地域での実践度の評価と自殺自死防止対策のありかたを検討するため、アンケート調査を実施した。

【実施主体】 島根県雲南市

【大綱の分類】 3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する⑦

【事業予算】 394 千円（394 千円）

【利 点】

- ・ゲートキーパー養成講座受講者が、受講後に職場や地域でどの程度実践し、活かしているかを知ることができる。
- ・自死防止対策についての意見を知り、自死防止対策のあり方を検討できる。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ・平成 22 年度から、市職員、民生児童委員、雲南市立病院職員、介護保険関係者（介護支援専門員、介護保険事業所職員）を対象にゲートキーパー養成研修（以下 GK 研修）を実施。
- ・平成 25 年度は、今後の自死防止対策のありかたを検討するため、研修受講者や民生児童委員を対象に実践度調査を実施。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ・アンケート調査の設計にあたり、養成の初年度に感想を自由記述で求めた。その内容を分析し、養成の達成状況の評価を①～③の3点にまとめた。
- ・養成講座の2年後に実践度評価のために、初年度と同一様式でのアンケート調査を実施し、実践度を把握した。

【具体的な内容・実施の過程】

・ゲートキーパー養成研修：

本市における GK 研修は「①安心して暮らせるまちづくり」「②窓口対応と専門機関へのつながり」「③職場・同僚への実践」の3点について理解し実践できることをねらいとする。平成 22 年度から 24 年度までに延べ 380 人が研修を受講。

・ゲートキーパー養成後実践度アンケート調査：

GK 研修受講者の職場や地域での実践度の評価と、今後の自死防止対策のありかたを検討する

ため、平成 23 年度と 24 年度の研修受講者と民生児童委員の 229 人を対象にしたアンケート調査を実施。

- ・ GK 研修に参加していないと回答した者にも自由記載欄を設け、今後の自死防止対策の意見を求めた。

#### 【成 果】

- ・ アンケート結果：回答者は 154 人／229 人中（回収率 67.2%）。
- ・ 「気づくこと」の意識や、「話しやすい印象」、「聴き上手」を心がけることの実践度は 7 割と高い。
- ・ 研修での学びを同僚に伝える、市民へのゲートキーパーとなれるよう働きかけるという実践度は低い。
- ・ 自由記載では、受講していないものも含め 75 人が回答。
- ・ 事業所や自治会など地域の様々な場所での研修を要望する声が多数あった。
- ・ 自死を地域全体の課題と感じながらも、具体的にどう取り組んでよいかわからないといった意見があった。

#### 【補 足】

今回の結果をふまえ、地域のリーダーを対象に「自死を減らすためのアイデア創出ワークショップ」を開催。

#### 【課 題】

- ・ 自死を減らすためにどんなことができるのか、地域全体で考えていける仕組みづくり。
- ・ 継続的なゲートキーパー養成ができるよう研修体系の整備が必要である。

【事業種別】人材養成事業

【準備期間・人数】

【予防段階】1 次

【自治体規模】

- ・ 人口 41 千人（H26 年 3 月末） 財政規模（31,284,007 千円：H26 年度普通会計歳出総額）

【自治体負担率】0%（地域自殺対策緊急強化基金を活用しているため）

【事業対象】

市職員、民生児童委員、雲南市立病院職員、介護保険関係者（介護支援専門員、介護保険事業所職員）

【支援対象】

市職員、民生児童委員、雲南市立病院職員、介護保険関係者（介護支援専門員、介護保険事業所職員）

【実施主体・問合せ先】

島根県雲南市役所 健康福祉部 健康推進課

TEL:0854-40-1045

E-mail:kenkousuishin@city.unnan.shimane.jp

URL : <http://www.city.unnan.shimane.jp/>

【参考資料・文献】「誰でもゲートキーパー手帳」